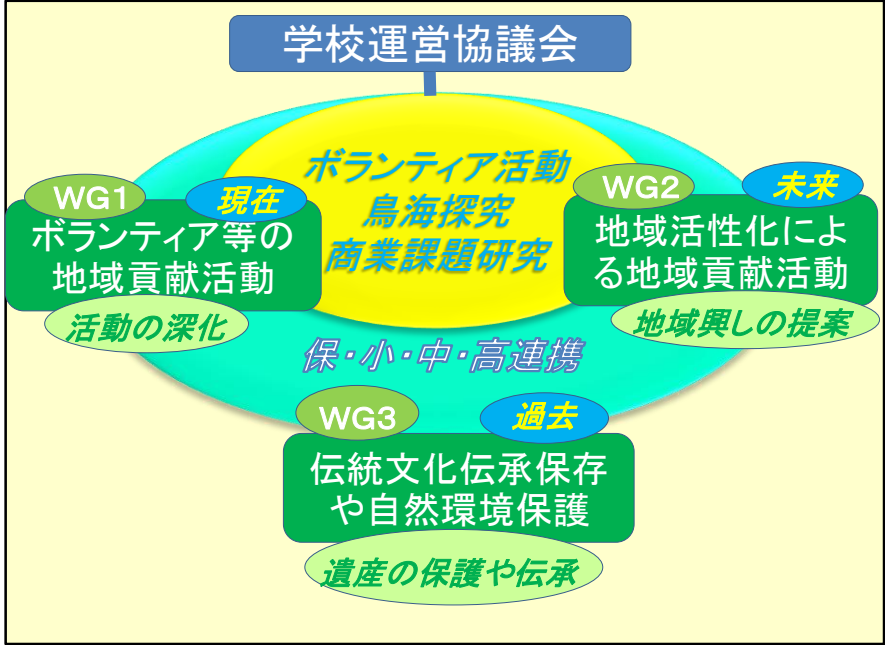
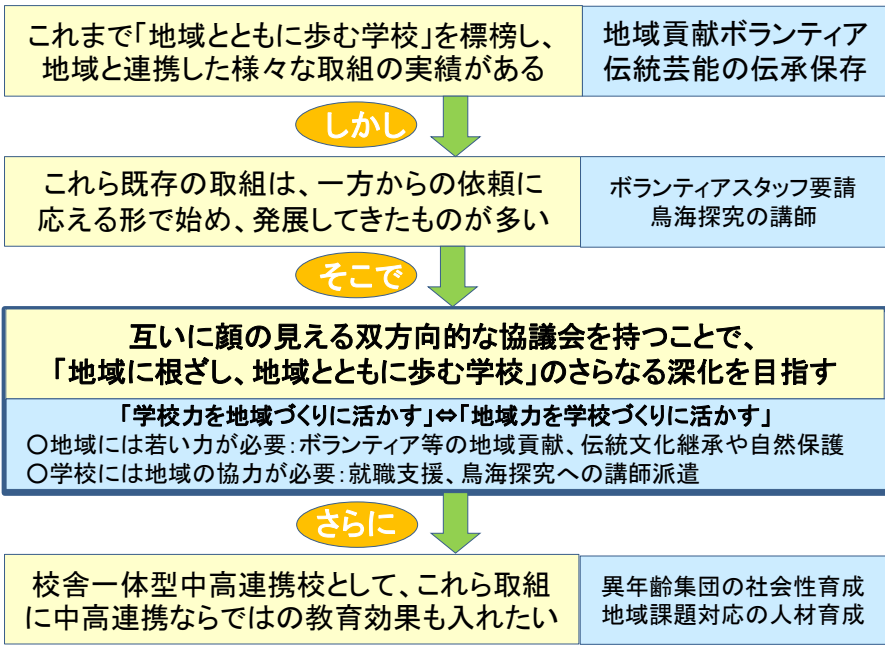


矢島高等学校におけるコミュニティ・スクールについて



地域や学校の現状	
地域	矢島高校の所在する由利本荘市では、市内全ての小・中学校がコミュニティ・スクールとなっており、今後県立学校とも連携し地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを目指している。
学校	地域との連携はかなり進んでおり学校独自の教育活動である総合的な探究の時間「鳥海探究」を通し、校内体制の整備が進み教職員の意識も高まっている。

熟議のための3つのワーキンググループ	
WG1	地域ボランティア等の地域貢献活動について協議する 〔主に現在行っている活動の深化に向けた提案〕
WG2	地域の活性化に資する地域貢献活動について協議する 〔主に地域興しなどの未来に向けた取組への提案〕
WG3	伝統文化の継承保存や自然環境保護について協議する 〔主に 伝統文化遺産の保護や伝承についての提案〕

テーマ型コミュニティ・スクールとしてのコンセプト

矢島町は旧城下町独自の文化があるが、少子高齢化による活力衰退が著しい

↓

矢島高校には地域貢献活動の実績や、地域の文化・環境の学習機会がある

↓

「地域の担い手としての貢献活動」と「伝統文化の保存や自然環境保護」を大きな柱として、学校所在地である矢島町の地域活性化に貢献する

学校運営協議会の構成

○運営協議会委員は学校評議員を母体として、同窓会、PTAや、地元企業人、地域団体(町内会等)の代表者とする。

○矢島・鳥海・由利3町という地域の枠組みを考慮して人選する。

○3つのワーキンググループに4人ずつ配置する。

○年間3回の全体協議会(6月、9~10月、2~3月)を開催し、その間に各ワーキンググループの分科会を行う。